

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25201
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学	開講場所 (キャンパス・施設)	安東キャンパス			
2. 科目名	日本文学科で何が学べるか					
	学問分野	番号	11	名称	文化・文学	
3. 担当教員	川岸克己、先坊幸子、高木久史、吉目木晴彦 (文学部日本文学科)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成27年8月3日 (月) ~ 平成27年8月4日 (火) 1・3回目 10時40分 ~ 12時10分, 2・4回目 13時00分 ~ 14時30分					
個別開講日	1回目 8/3	2回目 8/3	3回目 8/4	4回目 8/4	5回目 /	6回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /
	13回目 /	14回目 /	15回目 /	16回目 /		
5. 募集定員	50人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>●第1回「人を惹きつける言葉のちから」 川岸克己准教授 日本文学科で何が学べるか、について総論的なお話をします。日本文学科に進学しても将来役に立たないなどと言われます。役に立つとはそもそもどういうことか、前向きに考えます。つづいて、担当者の専門である日本語学の分野から、キャッチコピーについてお話します。なぜか気になる言葉の仕組みについていっしょに考えましょう。</p> <p>●第2回「中国の不思議な昔話」 先坊幸子助教 漢文学といえば、故事成語や唐詩、『論語』などの思想というイメージが強いかも知れません。しかし中国にも日本の昔話のように、妖怪や幽霊などが登場する「志怪説話」が沢山あります。この度はそんな不思議なものがたりの世界をご紹介します。</p> <p>●第3回「地名から歴史を考える」 高木久史准教授 身の回りの様々な地名にも歴史があります。地名の歴史をたどることで、その土地の歴史の変遷を知ることができます。今回は広島市中区猫屋町に注目します。どうしてこのような地名がついたのか、その歴史を探ってみましょう</p> <p>●第4回「言文一致運動はなぜ起こり、何をもたらしたのか」 吉目木晴彦教授 私達が読むさまざまな小説は、昔から今のような形であったわけではなく、歴史的な産物です。特に明治時代の言文一致運動からは多大な影響を受けました。その背後にあった歴史と、書き言葉が変わることによってどのようにもの見方が変化したのかをお話します。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日 (7月17日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月18日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 女子に限る。					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。